

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

# 町外出身職員に聞いてみた

名付けて!!  
「大熊町輸入人材」

大川原での暮らしを満喫しています  
もっと知りあいを増やしたい♪



こんにちは👋「役場職員＝大熊町出身」というイメージがあると思いますが、実は町外出身の職員も多いんです！今回は町出身ではないけれど大熊町の職員として勤める鈴木千遥<sup>ちほる</sup>さんを紹介합니다👏鈴木さんは会津美里町出身の24歳。総務課で主に福利厚生を担当しています😊「復興の最前線で働く職員をサポートすることが私の役割です👏」と意気込みます。そんな鈴木さん、他自治体の職員になることも大川原で生活することにも不安はなかったそうです。「両親もがんばってこいと背中を押してくれました。大川原で楽しくいろんなことにチャレンジしたいですね💎」と笑顔で話してくれました♡

## 異文化交流は 成長のチャンス



短大では国際文化学科を専攻していた鈴木さん。異文化に触れることが大好きで、海外のさまざまな地を巡ったそうです👉「海外は自分の世界をぐっと広げてくれます。中でもカンボジアは印象的でした💎東南アジアの独特な雰囲気を感じてまた行きたいですね！」鈴木さんは入庁後に大熊町とオーストラリアのバサースト市が姉妹都市を結んでいると知り、「いつか国際交流事業を担当したい👏」とのこと。定期的に英語の勉強もしているんだとか📖素敵です★



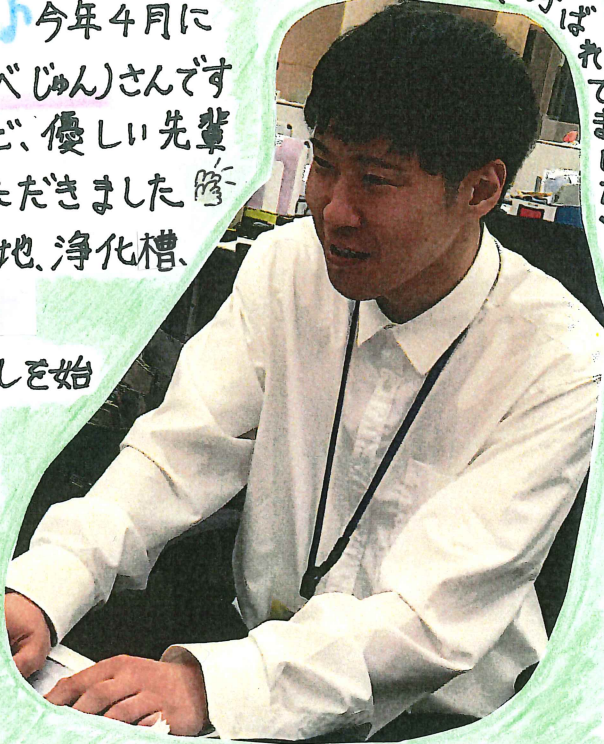
カンボジアの現地の人に撮ってもらった1枚📷友人と2人での旅行でしたが行きたい場所が違ったためほとんど別行動だったそう👏👏

# 輸入人材 その2!

町出身でない職員はも、というんです!  
 続いてもう一人紹介しちゃいます♪今年4月に  
 入庁したばかりの磯部 順 (いそべ じゅん) さんです  
 「仕事に慣れるまでは大変だけど、優しい先輩  
 に囲まれています😊」とコメントいただきました  
 配属された環境対策課では基地、浄化槽、  
 畜犬などを担当し、日々精進中。

入庁と同時に大川原で一人暮らしを始  
 めた磯部さん。実家にはちび  
 ちゃんとまるちゃんという愛猫も  
 いるんだそう♡「実家に帰  
 る時の楽しみの一つです!」

「ぼーちゃんって呼ばれてました」



〇月〇日(〇曜日)

日直 鈴木千遥

出身：湯川村  
 所属：環境対策課  
 年齢：30歳  
 好物：寿司(ネギトロ)

## 大川原に来てみてどう!?

この質問にはちょっと衝撃的な回答が!!  
 「地元に近いのでホッとしています。コンビニの  
 閉店時間に間に合わなかった夜はプロテインと

ナッツだけです(笑) 朝ごはんは食べず、  
 お昼ごはんはおにぎりを食べるのが多い  
 んだとか! 体には気をつけてほしいですね  
 そんな磯部さん、学生時代はギターを弾いて  
 いたことも!(ちなみに黒歴史だそうです)  
 ほかに川釣りやスノーボードにも挑戦す  
 るなど、アクティブな一面も。新生活で  
 は新しい趣味を絶賛募集中です! <Come on!>



ちびちゃん



まるちゃん



表面で紹介いただいた  
 鈴木千遥です。5月  
 から大川原LIFEメンバー  
 になりました! よろしく  
 お願いします!